

事業者向け 放課後等デイサービス・児童発達支援評価表

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		○		入れ替わり時に保護者室が混雑してしまう時あり。5分前入場のお願いとフィードバックの時間配分を考虑的に伝えるようにしている。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			1対1の個別療育, 6対3の集団療育
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		療育室はバリアフリーしていますが、建物が3階の為、階段での移動になっている。手すりあり。気を付けてもらうよう言葉がけています。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			事業所の目標については、マネジメント研修で管理者に周知するとともに、各職員が年度初めに目標設定し、振り返りを行う
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			療育後のフィードバックの中で保護者の意向を把握し改善できる部分是对应し全職員に共通理解できるようにしている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか		○		今後、ホームページに公開する予定です。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			定期的に専門家の研修に参加。施設内勉強会を毎月実施。外部研修も積極的に参加。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			聞き取りシートを利用し保護者の思いを取り入れ、日々の療育中の観察を通してアセスメントを行い、計画書を作成している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか				入所時にJSI-R、目の動きのスクリーニングテストにて発達段階を把握し療育に繋げている。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			日々記録等で療育内容を知らせ次の課題を共通理解し療育している。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			

⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			日々目標に応じた内容を設定し支援している。
⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか		○		日々記録等で利用児の情報を把握し療育に取り組んでいる。
⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○		その都度問題点や保護者からのご意見等は伝え共通理解している。またケース会議をする中で状態、変化、問題点、今後の課題について話し合っている。
⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			

⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			半年に1回保護者に聞き取りをし見直しの判断を実施	
⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	○				
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか		○		サービス担当者会議の参加はしていないが今後開催される時は、児童発達管理責任者が参加予定。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか		○		必要があれば、学校等との情報交換や、見学、見学の受け入れ、保育所等訪問支援を実施
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		特に注意が必要な場合は、主治医に運動の範囲等の指示を仰いでいる
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			保育所等訪問支援を実施。また必要に応じて情報の共有、学校の先生の見学、相談に応じている。
㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			訪問支援へと移行できるシステムになっている。	

との連携	②⑤	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			定期的に研修を受けている
	②⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	
	②⑦	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか			○	
	②⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			療育後のフィードバック時、今日に内容、状況、課題について毎回話し共通理解している。
	②⑨	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	保護者勉強会を3回実施し、保護者の悩み、思い等を話し合える場を設けている。
保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約に説明し、了解を得ている。
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			専門職のスタッフが対応し必要な支援を行っている。(相談支援をしている)
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			保護者からの要望に対し真摯に受け止め即時対応している。
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			ブログを中心に行事等の様子をお知らせしている。
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	○			
	③⑯	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			療育後のフィードバック時保護者の思いを受け止めながら情報伝達できるようにしている。
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	今後地域参加型のイベントを実施する予定。
非常時	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			

等 の 対 応	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			年2回避難訓練を実施。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			現在まで身体拘束を行う必要のある利用者はいない。もしそのようなケースがあれば、行動障害を起こさせないような十分な配慮、環境整備のもと、サービスを実施する。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			行事等でのおやつ提供時は、アレルギーについての聞き取りをしている。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		○		ヒヤリハットした場面を提示し事例集作成中。